

『地域でのあいさつや笑顔の大切さ』

小城市立三里小学校 6年 小^こ森^{もり} 亜^あ実^み

私の住んでいる三里では、地域の人と関わる機会がとても多いです。学校に行っていると中で「おはようございます。」と言うと、地域の人が「おはよう。」と返してくれます。三里ふれあい自然塾で育てた野菜を梅まつりで売って、地域の人を買ってくださいます。こんなふうに、地域の人とふれあえるのは、いいことだなと思いました。でも、その優しい目が悪い目になったらいやだなと思いました。前にテレビで、近所を歩いただけで悪口、かげ口を言われている人を見ました。その人はとても、いやな思いをしているだろうなと思いました。本当は、いい人だけど悪いイメージをもたれて悪口、かげ口を言われている人が多いなと思いました。それが犯罪、非行につながるかもしれないと思いました。だからふだんから地域の人にあいさつをしたり、優しくしたりすると、もっと地域の人と仲良くなれると思いました。

三里では、田んぼでとれたもち米を使ってもちつきがあります。ほかにも、地域の人のおかげでできる行事が、たくさんあります。

三里小学校では、毎週木曜日にクリーン作戦をしています。そして、年に一回クリーン大作戦もあります。はっぴいぶっくで本をもらったり、自然塾で野菜を作ったり、地域の人に感謝しないといけないことがたくさんあるので、これからも感謝の気持ちをこめて、クリーン作戦で三里をきれいにしたいです。

私が犯罪、非行のない地域社会づくりで、必要なことは、まずあいさつだと思います。「おはようございます。」「おはよう。」や「こんにちは。」「おかえり。」など

の地域の人との言葉のキャッチボールが大事だと思いました。それをすると、あいさつをされた人もあいさつをした人もうれしくなると思ったからです。私たちは毎日、近所の人にあいさつをしていたので、この前学校から帰ると中におじいさんから「このへんの子ども達は、よくあいさつをするね」と言ってもらえました。とてもうれしかったです。

次に必要なことは、笑顔だと思いました。いつも笑顔でいると地域の人がたくさん声をかけてくれると思うし、まわりの人を笑顔にできると思ったからです。これからも、あいさつと笑顔をわすれないようにしたいです。

犯罪、非行をしてしまった人には、さげずに優しく明るい言葉をかけたほうがいいと思いました。そうすると犯罪、非行をしてしまった人も反省して優しい、いい心がもどってくると思ったからです。犯罪、非行をしてしまった人は、はやく立ち直れると思いました。

これからも、地域の行事にたくさんとりくみたいと思いました。そして地域の人とたくさんふれあって学校に行くときも帰るときもあいさつをわすれないようにしたいです。犯罪、非行のない地域社会づくりにすこしでもつながるように、がんばりたいです。